

キャラクター名
ソレイユ・ラテ

プレイヤー名

種族	シャドウ	種族特徴	暗視/月光の守り		
生まれ	軽戦士	性別	女性	年齢	6
冒険者Lv	13	経歴	忘れられないほど美味しいものを知っている		
経験点	5970		過去に仕えた主がいた 一定期間の記憶がない		

技	17	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	4	2	13	36	6
	敏捷度	1	5	21	44 + 2	7	
	6	筋力	10	1	11	28 + 2	5
生命力		7	2	9	24	4	
4	心	知力	7	1	6	18	3
		精神力	7	1	6	18	3

技能	Lv.	技能	Lv.
フェンサー	13		
マジテック	4		
スカウト	12		
レンジャー	9		
エンハンサー	6		

戦闘特技			
トレジャーハント	2120p	牽制攻撃	IB36 p
ファストアクション	2123p	防具の達人	IB32 p
影走り	2120p	ディフェンススタンス	IB37 p
トレジャーマスター	3143p		p
治癒適正	2122p		p
不屈	2123p		p
ポーションマスター	2123p		p
挑発攻撃	IB37 p		p
回避行動	IB29 p		p
防具習熟A/非金属鎧	IB31 p		p
防具習熟S/非金属鎧	IB32 p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
魔動機文明語	○	○
シャドウ語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
ガゼルフット	
キャッツアイ	
マッスルベアー	
ビートルスキン	
ケンタウロスレッグ	
デーモンフィンガー	
ジャイアントアーム	
ワイドウィング	
リカバリィ	
トロールバイタル	

名誉アイテム	点数
専用装飾品(怪力の腕輪)	50
専用盾(グロリアス)	50
エルエレナ惑乱操布術入門	50
見えざる敵に苛立て	20
見えざる敵に苛立てII	30
美しき舞に感え	20
美しき舞に感えII	30
美しき舞に感えIII	50
名誉点 所持 1597 /合計 1897	

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	13	19	20	18
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク 筋力 回避力 防護点			
鎧	アストラルガード	6	1	7	
盾	Mエルエレナケープ	4	0	1	
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				3	3
回避技能	フェンサー	合計値		24	12

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ピアシング	1H	4		2d+ 19	8	18	14										
				2d+													
				2d+													

一般装備品	(消耗チェック)
スカウトツール	○□□○□□
冒険者セット	○□□○□□
非常食x4	○□□○□□
ぬいぐるみ	○□□○□□
	○□□○□□
以下売却品	○□□○□□

ソフトレザー	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
所持金	174825 G
預金・借金	G

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	46 m	138 m	2d+ 24	12	65
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP	
2d+ 0/X	2d+ 19	2d+ 17	2d+ 22	32	

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
魔動機術	4	7			

装備品	説明
頭 セーフティメット	
耳	
顔	
首 ポーションインジェクター	
背中	
右手 怪力の腕輪	筋力+2
腰 多機能ブラックベルト	
足	
その他	

装備品	説明
左手 疾風の腕輪	敏捷度+2
ブレードスカート	

その他メモ	自動失敗 チェック
ソレイユは5歳の時、両親に見限られ街から離れた山道に捨てられてしまう。 路頭に迷い、どうすることも出来なかったソレイユだったが、そこに1人の老婆が手を差し伸べた。 老婆は近くの村に住んでいて、そこで養ってくれることになった。 老婆は料理を作ったり、ソレイユと遊んだり、それはそれは本当の我が子のように育てた。 ソレイユもその老婆を本当の親のように尊敬し、手伝いもかかさなかった。	○□□□⑤ ○□□□⑩ ○□□□⑮ ○□□□⑳ ○□□□㉑ ○□□□㉒ ○□□□㉓ ○□□□㉔ ○□□□㉕
1年後のある日、蛮族が村に襲撃した。 この村に配備されていた自警団が村を守るために立ち向かったが、この日に現れた蛮族は並の強さではなかった。 自警団は予想外の出来事に驚き、急ぎ街から増援を呼ぼうとしたが街から遠いこの村に到着するには時間が必要だった。 そして村の人々と自警団は蛮族に次々と虐殺されていった。 その虐殺されていく人々を見て怯えていたソレイユに老婆はここから逃げるように伝える。	○□□□⑥ ○□□□⑪ ○□□□⑰ ○□□□㉖ ○□□□㉗ ○□□□㉘ ○□□□㉙